

一

般

質

問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

P6……平田 要

P7……太田 祐介、中西 顯治

P8……井上加奈子、森田 則子

P9……難波希美子、中植 昭彦



平田 要

東郷観光案内所を活かした新たな展開

問 農産物販売所「能勢けやきの里」を、観光物産センターのサテライト版として、新たな展開を図ることにより、能勢の新鮮野菜の満足度を、更にアップするための行政支援について問う。

答 「能勢けやきの里」については、ホームページ等による情報発信を引き続き行い、認知度を高めていきたい。「東郷観光案内所」は、清潔で安心な運営管理を行っていく。

問 観光物産センターのよう公設民営の小規模な販売所、サテライト版として行政支援が必要。

付加価値としてミニ・コンビニ等の併設により生活福祉の支援につながる。考え方を問う。



問 獣害捕獲者支援と食肉等への活用

答 能勢町鳥獣被害防止計画に示す、食品等としての活用や焼却処分について検討するとしている。

問 獣害捕獲者支援と食肉等への活用

答 全頭処理として検討していく必要があると考えており、本町にとって何がいいのかというところも含め検討していく。

一、東郷観光案内所を活かした新たな展開

問 地域の意見として、今後とも行政支援について働きかけていくが。まつた意見は、町として検討したいと考える。

答 地域振興について、地域の方からいろいろまとまった意見を頂戴したなどと考える。

問 地域の意見として、今後とも行政支援について働きかけていくが。まつた意見は、町として検討したいと考える。

答 全頭の個体処理方法について検討している。食品等の活用については、個体処理方法の確立後、民間の活力等に期待したい。その取り組みに対する支援に努めたい。

問 国立環境研究所等が、自治体向けに有害鳥獣の捕獲後の適正処理に関するガイドブックを発行している。その中で、冷凍で保管し破碎機で切断後、既存のごみ焼却炉で焼却する方法が示されているが、考えを問う。

答 全頭処理として検討していく必要があると考えており、本町にとって何がいいのかというところも含め検討していく。

二、獣害捕獲者支援と食肉等への活用